

令和元年度

決算報告書

第 16 期

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

国立大学法人 名古屋大学

令和元年度 決算報告書

国立大学法人 名古屋大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入	106,118	117,363	11,245	
運営費交付金	31,580	32,359	779	(注1)
施設整備費補助金	3,028	1,202	△1,826	(注2)
船舶建造費補助金	0	0	0	
補助金等収入	4,545	4,994	449	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	61	61	0	
自己収入	47,585	50,591	3,006	
授業料、入学金及び検定料収入	8,713	8,675	△38	(注4)
附属病院収入	37,764	38,622	858	(注5)
財産処分収入	0	1,204	1,204	(注6)
雑収入	1,108	2,090	982	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	16,730	25,527	8,797	(注8)
引当金取崩	309	346	37	(注9)
長期借入金収入	1,910	1,910	0	
貸付回収金	0	0	0	
目的積立金取崩	370	373	3	(注10)
計	106,118	117,363	11,245	
支出	106,118	109,689	3,571	
業務費	76,048	77,631	1,583	
教育研究経費	40,775	38,972	△1,803	(注11)
診療経費	35,273	38,659	3,386	(注12)
施設整備費	5,430	3,173	△2,257	(注13)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	4,545	4,994	449	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	16,730	19,962	3,232	(注15)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	3,365	3,327	△38	(注16)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	0	602	602	(注17)
計	106,118	109,689	3,571	
収入 - 支出	0	7,674	7,674	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった運営費交付金債務の繰越額が増額されたことや、退職手当等の追加配分があったことにより、予算額に比して決算額が779百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、事業の一部が計画変更により繰越となったため、予算額に比して決算額が1,826百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金獲得に努めたため、予算額に比して決算額が449百万円の多額となっております。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料徴収対象者数の減による授業料収入の減少等により、予算額に比して38百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、診療単価の増により、予算額に比して決算額が858百万円多額となっております。
- (注6) 学校財産処分収入については、予算段階では予定していなかった豊川キャンパスの土地売却により、予算額に比して決算額が1,204百万円多額となっております。
- (注7) 雑収入については、著作権及特許権等収入、学校財産貸付料収入及び雑入等の増収により、予算額に比して決算額が982百万円多額となっております。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算作成時に予定しなかった受託研究及び共同研究、寄附金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が8,797百万円多額となっております。なお、受託研究費等の前年度からの繰越額は4,664百万円となっております。
- (注9) 引当金取崩については、対象者の増加等により、予算額に比して決算額が37百万円多額となっております。
- (注10) 目的積立金取崩については、執行計画の変更により、予算額に比して決算額が3百万円多額となっております。
- (注11) 教育研究経費については、執行計画の見直しや新型コロナウイルス感染症拡大の影響による業務の中断に伴う翌事業年度への繰越をしたこと等により、予算額に比して決算額が1,803百万円少額となっております。
- (注12) 診療経費については、病院収入の増や人事院勧告による人件費の増等により、予算額に比して決算額が3,386百万円多額となっております。
- (注13) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が2,257百万円少額となっております。
- (注14) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が449百万円多額となっております。
- (注15) (注8)に示した理由等により、予算額に比して決算額が3,232百万円多額となっております。
- (注16) 長期借入金償還金については、借入金利率の見直しなどにより、予算額に比して決算額が38百万円少額となっております。
- (注17) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が602百万円多額となっております。